

都市再生整備計画(第2回変更)

備前国府地区

岡山県 岡山市

平成22年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岡山県	市町村名	おかやまし 岡山市	地区名	びぜんこくふらぐ 備前国府地区	面積	955 ha
計画期間	平成	18	年度	～	平成	22	年度
交付期間	平成	18	年度	～	平成	22	年度

目標

- 大目標: 古くからの歴史的資産や恵まれた自然環境、都市近郊という立地条件を生かし、ゆとりある環境共生型まちづくりを実現する
 目標1 自然とのふれあいを通じて、自然環境の保全と活用を図る。
 目標2 人とのふれあいを通じて、地域の活性化を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 当地区は古代より備前国の国府として栄えた地区であり、備前国跡や賞田廃寺跡、総社、古代条里制跡など当時を偲ばせる史跡等が数多く現存している。その中でも、賞田廃寺跡は文化庁の補助を得て平成13年度より岡山市が環境整備事業に着手しており、平成19年頃に整備完了予定である。
- 地区内には天然記念物である「アユモドキ」が生息し、また一部では岡山市の「ホテルの里」に指定されているなど貴重な自然環境が残されており、地域住民と行政が一体となり保全活動を行っている。
 - 地域住民と行政が協力しながら地域の循環型・共生型の暮らしを育て、有形・無形の環境資源を現地で守り・活用することにより、環境にやさしいくらしと良好な環境資源があたかも博物館の展示品のようにちりばめられた地域となることを目指し、岡山市では当地区を「おかやまエコミュージアム」のモデル地区に指定している。「おかやまエコミュージアム」では、市と公民館の連携により「アユモドキの赤ちゃん観察会」や「川遊び入門」などの催しを開催し、都市に住む人が自然環境に慣れ親しむことができる機会を提供している。
 - 地域住民の一部では自発的に環境を保全・創造するエコボランティアとなり、ホテルの生息する水路の草刈や菖蒲の管理、養殖などを実施している。
 - 環境情報の共有化を目的に環境省、国交省、農水省、林野庁が共同で実施している岡山市を対象としたエコロジカルネットワーク調査の中で当地区は豊かな生態系が維持されていることからモデル地区に位置づけられている。
 - 用水の改修時には地域の自然環境に配慮し、アユモドキブロックや自然護岸を利用した改修を実施している。
 - 備前藩の御用水井戸であり、全国名水百選の一つである雄町の冷泉をモチーフにした公園「おまちアクアガーデン」を整備し、市民と湧き水とのふれあい空間を創出している。
- 龍ノロ山の稜線やその裾野に広がる農村風景など良好な自然景観を今も残している。
- 地区内には、百間川の河川敷を利用した百間川緑地が整備されており、市民に散策やレクリエーション等に利用される他、動植物の生息・育成にかけがえのない環境を提供している。
- 当地区は都心近郊に位置していることから、地区の南部を中心として人口増加など市街化が進行しており、ホテルの生息地が減少している。
- 当地区は岡山市最大の高島市営住宅や東ヶ丘市営住宅が整備され、東ヶ丘団地造成分譲事業による住宅地整備が図られるなど、その立地条件を生かし良好な住環境を提供しているが、高島市営住宅では高齢者の構成比率が高く、全世帯の3割以上が孤立しがちな単身高齢者世帯となっている。

課題

- 当地区は、豊かな自然環境や歴史的資源に恵まれているが、地区住民が地区の資源に気軽にふれあえる環境が整備されていない。
- 既成市街地となっているJR山陽新幹線より南側については地区住民が気軽に自然にふれあい、人と交流することのできる空間が無い。
- 孤立しがちな単身高齢者の増加に対し、高齢者が人と関わりあいながら生き生きと暮らすことのできる環境が無い。

将来ビジョン(中長期)

- 総合計画及び中期的な指針では、「国際福祉都市」を実現するため、岡山の特色を活かして自然・公園・都市景観の整備及び保全を図ることを掲げている。
- 総合計画において、当地区については、豊かな緑や水辺空間等の自然環境を保全・活用しながら、市民の憩いややすらぎの場の整備や歴史的・文化的資源とのネットワーク化を図り、うるおいある地域の形成を図ることとしている。
- 環境基本計画においては、環境保全を基調とした文化を有する環境文化都市を目指して、環境づくりを推進することとしており、この計画のリーディングプロジェクトである「おかやまエコミュージアム活動」をこの地区において実践している。
- 岡山市住宅マスタープランでは、これからの住宅政策の基本目標として「豊かな暮らしを支えるコミュニティー・ネットワークづくり」、「高齢者が生き生きと暮らせる環境づくり」を掲げている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
おかやまエコミュージアム参加者数	人	おかやまエコミュージアムが主体となって開催する自然とのふれあいをテーマとしたイベントへの参加者数	地区内の貴重な自然環境に対する住民の関心を高めることにより、エコミュージアムへの参加者を1.5倍に増やす。	209	16年度	310 22年度
龍ノログリーンシャワー公園のボランティア人数	人	多様な自然環境が保全されている龍ノログリーンシャワー公園(森)において、ボランティア活動を行っている人数	多様な自然環境が保全されている龍ノログリーンシャワー公園(森)において清掃や自然保護活動を行っているボランティアの人数を1.5倍に増やす。	121	17年度	181 22年度
穂東町公園・高島公園・高島南公園の利用者数	人/日	平成18、19年度で整備する穂東町公園と既存の高島公園・高島南公園の利用者数の合計(休日)	穂東町公園を整備することにより、穂東町公園を含む地区内3公園の利用者数を1.2倍に増やす。	172	17年度	210 22年度
地区内の高齢者支援施設の定員の合計数	人	地区内の特別養護老人ホーム、ケアハウス及び小規模多機能型居宅介護施設の定員数の合計	民間の高齢者支援施設の立地を誘導し、定員数を2倍に増加することで、地区内の高齢者が地域との関わりを持ち続け生き生きと暮らせる環境づくりを目指す。	66	17年度	132 22年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(自然とのふれあい空間づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 当地区と都心を繋ぐ(都)竹田升田線の整備に伴い、地区内の自動車交通量の増加が予想されることから、地区住人が百間川緑地など豊かな自然環境空間や高島公園など地域交流の拠点となる場へ安全・安心・快適にアクセスするための市道歩道を拡幅する。 地区のバックグラウンドであり、豊かな歴史的資源や自然環境を残している龍ノ口山へアクセスするための道路を整備することにより、地区内外の市民が気軽に歴史的史跡に触れ、学ぶとともに自然環境に親しめる機会を増やす。 地区内を一望できる頭高山においては地元住民とのワークショップを通じてながら整備計画を策定し、地形や植生を生かした公園として整備することにより体験学習の場を提供する。 水防センター(河川防災ステーション)の整備を行い、平常時には多目的広場として開放し、百間川分流部の歴史的遺構や多様な自然環境の総合学習の場や地域住民や市民団体の自然とのふれあいの場とする。 <p>整備方針2(人とのふれあい空間づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 既に都市化されている地区南側においては、既存のくすの木を生かした緑の空間を整備することにより、地区住民が自然とふれあう場を提供し、自然環境への認識を深めてもらうと同時にボランティア活動や町内会活動の場としても利用できる空間を提供することにより、子供から高齢者までの都市居住者のふれあいを創出する。 高齢者が地域との関わりを持ち続けることにより生き生きと暮らしていくための場として、単身高齢者世帯向け賃貸住宅、高齢者支援施設を計画的に整備する。施設整備については、市が直接供給するのではなく、民営化(民間主導)へ方針変更し、民間活力を活かし供給を誘導する。 備前国最古の寺院跡であり、古代吉備文化を象徴する遺跡である賞田廃寺跡を自然との共生にも配慮しながら公園やレクリエーション機能も併せ持つよう保存整備を図り、古代人の英知を偲ぶとともに現代人の交流の場とし、新たな文化創造の地、またはその地盤を支える地となることを目指す。 	<p>方針に合致する主要な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路(基幹事業/市道高島小橋町線) 道路(基幹事業/市道祇園1号線) 道路(基幹事業/市道祇園37号線他) 公園(基幹事業/頭高山緑地) 道路(関連事業/市道中島11号線) エコロジカルネットワーク調査(関連事業、環境・国交・農水・林野庁) アユモドキ繁殖事業(関連事業、岡山淡水魚研究会) 地域創造支援事業(提案事業/水防センター) <p>公園(基幹事業/禰東町公園)</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者支援施設整備事業(関連事業/民間) 賞田廃寺跡整備(関連事業、市) 街路事業(関連事業、(都)竹田升田線、県) 高島浄化センター跡地整備(関連事業、市) 東ヶ丘団地宅地造成分譲事業(関連事業、市)
<p>その他</p> <p>○事業終了後の継続的なまちづくり活動</p> <p>当地域では、地元住民からなるエコボランティアが主体的に自然保護活動を実施されており、事業終了後も引き続き自然保護活動を行っていくこととしている。また、地元住民と岡山市が協力しながら「おかやまエコミュージアム」を実施しており、事業終了後も引き続き都市住民が自然環境に慣れ親しむ機会を提供していくこととしている。</p> <p>元気の館整備事業については、行政サービス棚卸し(市民事業仕分け)をへて、「民営化」という仕分け区分結果となり、市民に広く公表している。<評価者は学識経験・団体推薦の市民評価者7人と公募による市民評価者30人の37人></p>	

都市再生整備計画の区域

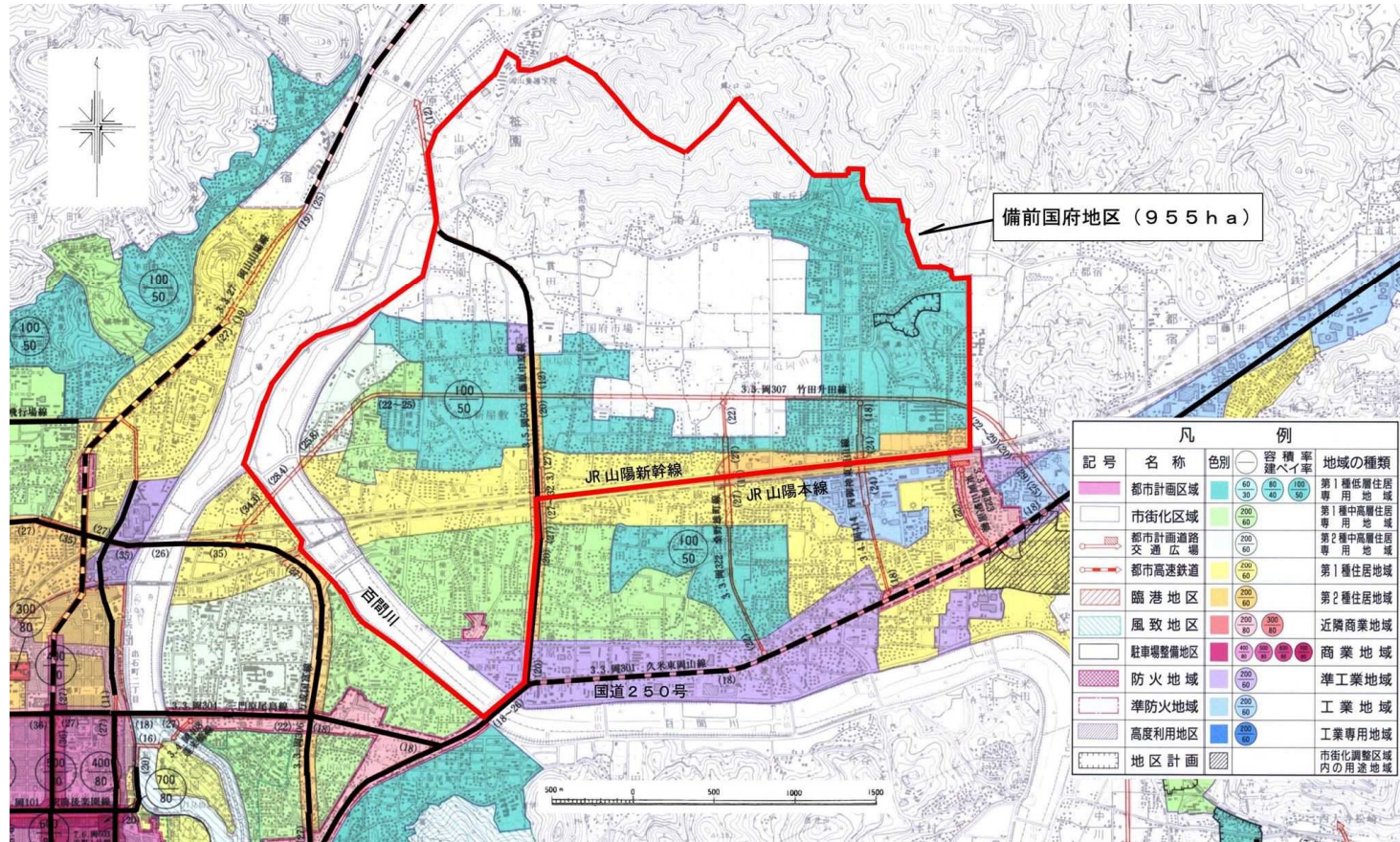
備前国府地区(岡山県岡山市)

面積

955 ha

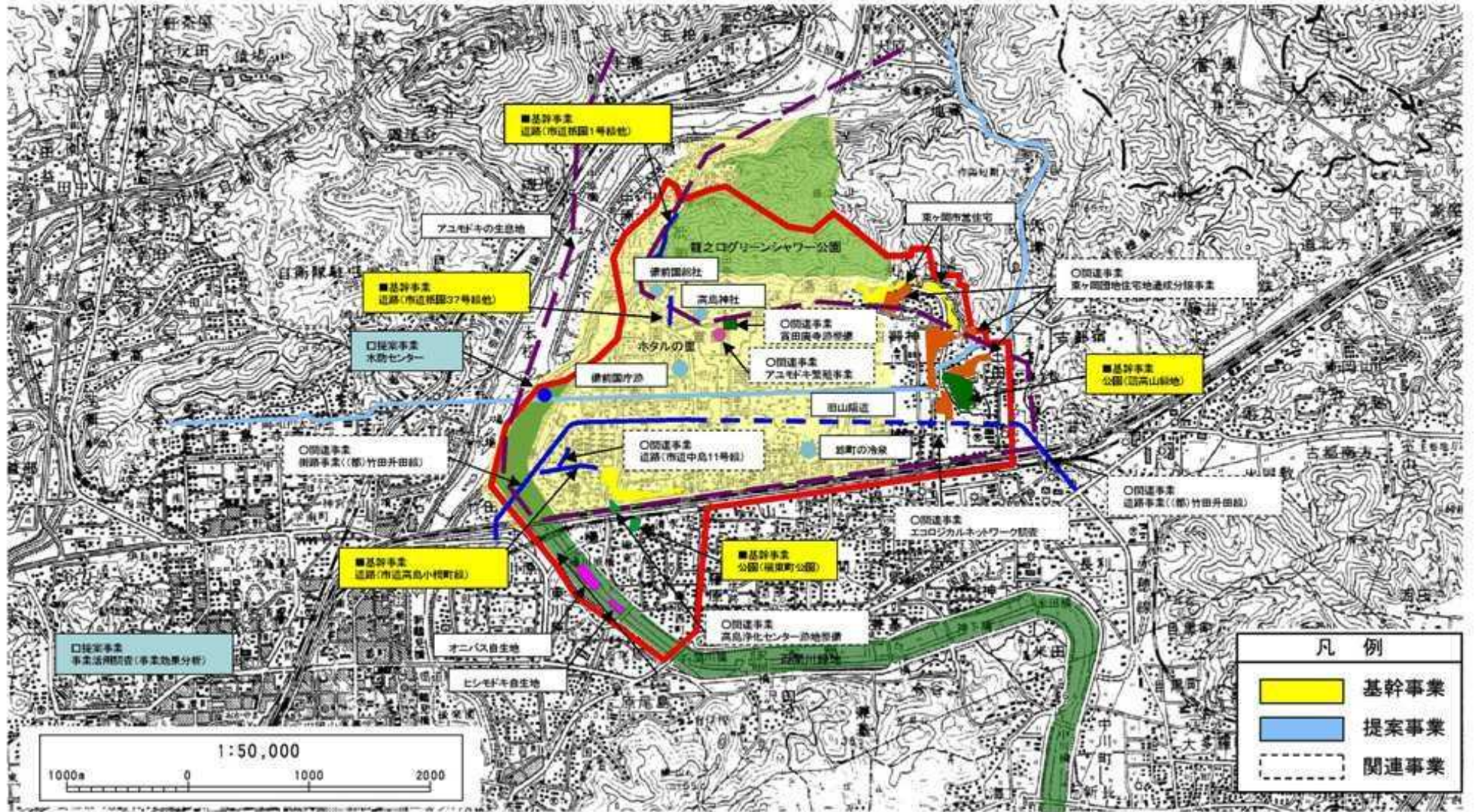
区域

賞田、湯迫、穰、国府市場、高島新屋敷、八幡、八幡東町、高島一丁目、高島二丁目、穰東町一丁目、穰東町二丁目、清水一丁目、清水二丁目、藤原光町一丁目、藤原光町二丁目、藤原光町三丁目、藤原西町一丁目、藤原西町二丁目、全部及び今在家、祇園、四御神、土田、長岡、雄町、中井、清水、原尾島一丁目、原尾島二丁目、東川原、竹田、中島の一部



備前国府地区(岡山県岡山市) 整備方針概要図

目標	古くからの歴史的資産や恵まれた自然環境、都市近郊という立地条件を生かし、ゆとりある環境共生型まちづくりを実現する。	代表的な指標	おokayまミュージアム参加者数 (人/年)	209 (16年度)	→	310 (22年度)
			龍ノ口グリーンシャワー公園のボランティア人数 (人)	121 (17年度)	→	181 (22年度)
			備前町公園・高島公園・高島町公園の利用者数 (人/年)	172 (16年度)	→	210 (22年度)



- 凡例
- 基幹事業
 - 提案事業
 - 関連事業